



緑と水に育まれた 川内の魅力

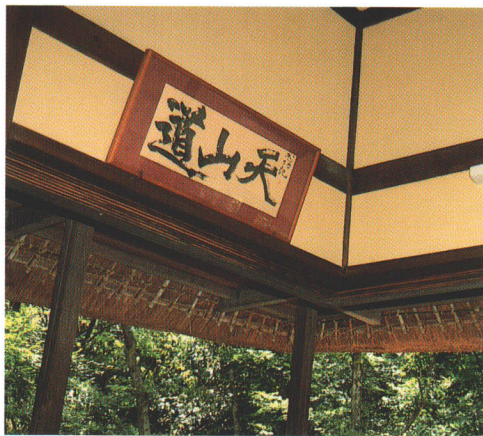
■モリアオガエルの生息地「平伏沼」

平伏沼は、海拔八四二mの平伏山の山頂にあり、面積十二aの小さな沼で、周囲は広大な落葉広葉樹に囲まれモリアオガエルの生息を支えています。

モリアオガエルの繁殖地として国の天然記念物の指定を受けているのは、全国で岩手県の八幡平大場沼とこの平伏沼の二か所です。

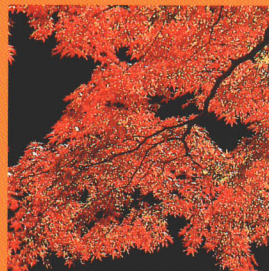
沼の西北側の不用意の伐採と、昭和四七年の干ばつが重なり産卵期に沼が干し上がり一時は絶滅寸前まで追い込まれたが、村民総出の必至の努力で危機から救われました。

モリアオガエは梅雨入りから十日間ぐらいで水辺の枝に泡上の卵を生み、その後十五日ぐらいでオタマジャクシになります。四〇〜五〇日目頃まで尾のある小蛙を目にすることが出来ます。



■天山文庫

文庫の設計は、日本建築の権威である信建築設計事務所長、山本勝巳氏。美しい付近のロケーションに溶けこむ木造真壁造りで茅葺き屋根。玄関の「天山」の扁額は、故川端康成先生の書、彫刻は後藤桂仙師。襖の帯は、明治中期頃の紺緋、自在かきは白夜院の伝統もの、扁や腰板の太鼓鉾は信州松本城でも使用している手打鉾が打ちこまれ、池は「月の十三夜」に似せて築かれたものです。



■いわなの郷

村役場から都路へ向かう国道三九九号線から栖生川沿いの林道に入り約1kmで着くことができます。この養魚場は、自然の中で誰でも気軽にいわな釣りを楽しむことができます。幻魚亭ではいわなを中心にした料理や飲食ができます。また、広い敷地の中には釣り堀の他に和風庭園や宿泊の出来る民家風コテージや身障者用コテージ、東屋、水車小屋など釣り以外にもピクニック気分を味わえるエリアがたくさんあります。

